

同 志 社 大 学

2009 年度 個人研究費研究経過・成果報告書

年 月 日提出

所 属	職 名	氏 名
文学部美術学 芸術学学科	教授	岡 本 洋
研究 題 目	現代における社会と芸術の取り巻く関係 — 国際的視点からの芸術的研究	
研 究 成 果 の 概 要	<p>上記題目のテーマに対して成果は次の二論文(社会・芸術研究年報 2009, 発行元同志社大学 社会・芸術的国際研究センター)において公表された。</p> <p>1) 『瀕死の公共芸術に示される美学的応急処置 — ベニチシンの「パサー」の「根拠」の活用』この論文は、第7回アジア芸術学会(於中国 Xiangfan 在学 2009年10月16日)における口頭発表に於いて、この発表の英文訳は、同年報に公表されており、和文p.54~p.62、英文p.121~p.125。</p> <p>2) 『ドイツ的芸術観と日本アノミエグレーション』における「ツインレ、キョウリ」この論文は、ドイツ・フーベンゲン大学におけるA Joint Project of Do-shi-sha University and Eberhard Karls Universitätでの共同発表に於いて、この口頭発表の英文テキストは、フーベンゲン大学で出版された小冊子に公表されている。またパワーポイントの用紙を3張り付けたバージョン(英語)は、同年報に公表されている。和文p.63~p.67、英文(パワーポイント、田原堂全頁) p.126~p.131。</p>	